

南ア月報  
(2020年3月)

【内政】

- 南ア国内で初の新型コロナウイルス感染者確認
- ラマポーザ大統領が国家的災害事態を宣言
- ラマポーザ大統領がナショナル・ロックダウン実施発表

【外政】

- ラマポーザ大統領のコンゴ（共）訪問
- G20首脳テレビ会合のマージンで行われた仏・南ア首脳会談の実施

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数（CPI）
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- Moody's が南ア国債をジャンク級に引き下げ
- 外出禁止令（ロックダウン）期間中の主な経済政策

【広報・文化】

- 「日本文化祭」の開催

【警備】

- ロックダウン以降の治安情勢

## 1 内政

### ●南ア国内で初の新型コロナウイルス感染者確認

5日朝、国立感染症研究所（NICD）は、新型コロナウイルス疑い例の一つが陽性であることを確認した。

ラマポーザ大統領は、南アにおいて新型コロナウイルスの感染が初めて確認されたことを受け、南アは、新型コロナウイルスに対して準備ができている。感染者は現在隔離されており、必要な治療を受けている。ムキゼ保健大臣と協議し、これまでの警戒レベルを一層高いレベルに引き上げる。パニックに陥る必要は無い。私立及び公立の病院においても、必要な治療を提供できるように準備している旨発言した。

### ●ラマポーザ大統領が国家的災害事態を宣言

15日、ラマポーザ大統領は、新型コロナウイルスに係る南ア政府の措置として、災害対処法に基づき、国家的災害事態(a nation state of disaster)を宣言した。主な措置の内容として、3月18日以降、高リスク国（イタリア、イラン、韓国、スペイン、ドイツ、米国、英国、中国）からの南アへの渡航禁止（その後、フランスおよびスイスが追加）を発表した。また、国民に対し、不要不急の国内移動、特に飛行機、鉄道、タクシー、バス移動をしないよう要請したほか、100名以上の集会の禁止、イースター休暇明けまでの学校の休校等を発表した。

### ●ラマポーザ大統領がナショナル・ロックダウン実施発表

23日、ラマポーザ大統領は、26日深夜から4月16日まで21日間のロックダウンを発表した。その後、ロックダウンに係る具体的な規制に関する官報が発出され、国境の閉鎖、国際線・国内線全て運休、不要不急の外出の禁止、飲食店の休業、タクシー・ウーバー及び自家用車の乗車制限、州および都市間の移動の禁止等が発表された。

## 2 外政

### ●ラマポーザ大統領のコンゴ（共）訪問

11日、ラマポーザ大統領はコンゴ（共）を訪問し、リビアに関するコンタクトグループ第1回会合に出席した。同大統領は、リビアの状況が悪化していることを指摘し、外部からの政治的および軍事的干渉の停止を訴え、AUと国連が推進する和平プロセスがリビア人のオーナーシップによって実現されることへの希望に言及する声明を発出した。

### ●G20首脳テレビ会合の-marginで行われた仏・南ア首脳会談の実施

26日に行われたG20テレビ会合の後、南アのラマポーザ大統領とフランスのマクロン大統領は、アフリカのCOVID-19対策への国際的な支援計画に関し話し合った。計画の一つめの柱は、アフリカのヘルスケアを向上させること、二つめの柱は、地域開発銀行、世銀、IMFを通じた大規模な経済刺激策、三つめの柱は、国連やWFP（世界食糧計画）による人道支援、四つめの柱は、WHO（世界保健機関）による検査と治療の実施及び検査実施に関する科学者のネットワークの構築である。その後、マクロン大統領は、AU（アフリカ連合）首脳達とのテレビ会議にも招かれた。その場で計画が発表され、首脳達は計画を歓迎した。

## 3 経済

### <経済指標>

#### ●消費者物価指数（CPI）

2020年2月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ1.0%上昇した。年間消費者物価インフレーション率は4.6%と、前月に比べ0.1%上昇した。

### ●為替レート

2020年3月31日付（南ア準備銀行）

6.0229 ランド/円

17.9822 ランド/ドル

19.772 ランド/ユーロ

### ●製造業生産高

2020年1月の製造業は、前年同月比2.0%減。主なマイナス要因は、木材および木材製品、紙、出版及び印刷で6.7%減。自動車及び輸送機器関連製品で5.6%減。繊維及び被服関連で10.3%減。また過去3ヶ月（2019年11月～2020年1月）の季節調整後生産高は8～10月からの生産高よりも1.8%減、製造業10部門中8部門で生産高減となった。（南ア統計局、3月12日）

### ●鉱業生産高

2020年1月の鉱業生産高は、前年同月比7.5%増。主なプラス要因は、鉄鉱石で27.9%増、白金で10.2%増、石炭で2.3%増。また過去3ヶ月（2019年11月～2020年1月）の季節調整後生産高は8～10月からの生産高よりも1.1%減。

### <出来事>

#### ●Moody'sが南ア国債をジャンク級に引き下げ

27日夜、米格付け会社Moody'sが南ア国債をジャンク級（投機的水準）に引き下げた。これにより、3大格付機関による南ア国債の格付けが全て投資適格級を下回った。格下げの主な理由として、中期的に不可避な南ア経済の悪化、経済の構造的成長と構造改革の不十分さを挙げた。これにより、4月以降南ア国債は世界国債インデックス（WGBI）から除外される。資本流出の加速、政府・家計・経済界の貸出金利の上昇とそれによる南ア政府の財政再建の困難さが増すことが予想される。

### ●外出禁止令（ロックダウン）期間中の主な経済政策

#### 1. 貿易産業省

中小企業を支援するための「連帯基金（Solidarity Fund）」に、1億5,000万ランドの着手金を保持。食料供給を維持するために、近隣諸国との取引は継続する。基本的な生活必需品の製造業者と販売業者と協議を行い、継続的な供給があることを確認。

#### 2. 中小企業開発省

必需品を生産するための地元企業に休息を与えるため、ビジネス成長サービス（Business growth facility）を創設する。このサービスは、原材料の入手、労働力およびその他の運用コストの支払いに充てられる。これらの全ての政府介入は、中小企業の現金の支出と、被った被害の範囲に一致するように作成される。また、企業を助けるために債務救済基金を設立。企業が基金の支援を受けるためには、新型コロナウイルスの事業運営における影響、または潜在的な影響への直接的なつながりを示さなければいけない。

### 3. 観光省

新型コロナウイルスの影響で、事業経営ができなくなる可能性のある中小規模の観光事業に資金提供を行う。

### 4. 環境・森林・水産省

水産業は食料安全保障にとって極めて重要であるため、外出禁止令の規制から免除される。

### 5. 農業・土地改革・地域開発省

あらゆる形態の食料生産を続ける。家畜のライブオークション、他の農産物の販売は厳しい条件下で継続。食料供給における新型コロナウイルスの影響に対処するために12億ランドを充てる。

## 4 広報・文化

### ●「日本文化祭」の開催

当館は、当地大型ショッピングモールである「ブルックリン・モール」(プレトリア)において、6日から8日にかけて一般市民を対象とした「日本文化祭」を開催した。日本企業(当地富士フィルム及びYamaha)や南アフリカスポーツ連盟・オリンピック委員会協力の下実施された同文化祭では、本年7月～9月に日本で開催される2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会(その後、2021年までの開催延期が決定。)に焦点を当て、オリンピックの公式種目として採用されたサーフィンをテーマとしたアニメーション「きみと、波にのれたら」を上映したほか、同大会南アフリカ代表チームのホストタウンである宮城県岩沼市、東京都町田市及び福岡県飯塚市の紹介を行った。更に、当地骨とう品収集家による室町時代の甲冑や打ち掛けの展示が行われたほか、当地生け花団体、各種武道団体(柔道、剣道、弓道、空手、居合道及び琉球古武術)、コスプレ愛好家、花柳流師範による日本舞踊、箏演奏、和食料理人によるデモンストレーション、当地俳句研究者による朗読、JETプログラム参加者による鼎談、当地日本語学習者による体験報告及び当地ポップカルチャーイベントICON主催者による世界コスプレサミット及び同サミットが取り組む海ごみゼロ運動に関するプレゼンテーションが行われ、3日間で約4,500人が来場するなど好評を博した。

## 5 警備

### ●ロックダウン以降の治安情勢

ロックダウン以後、タウンシップ等では、検査や消毒等が行われるとともに、軍や警察などの治安機関が検問等を強化するなど、南ア政府は新型コロナウイルス対策を強化している。

南アの治安当局はロックダウン中の治安全般は、それ以前と比べて数値的には改善し、一般治安は悪化していないと認識している。ロックダウン規則の遵守状況については、タウンシップではこれを無視する住民が一定数存在するため、国家警察及びメトロ警察等は国防軍の支援を受けながら、問題の大きい地区を中心に取締りを強化している。